

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：岡村幼稚園	種別：認可保育所	
代表者氏名：杉原 紳元	定員（利用人数）：110名	
所在地：〒235-0021 横浜市磯子区岡村2-13-11		
TEL：045-751-2008	ホームページ：http://okamura-kids.com/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：1950年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 梅の香り		
職員数	常勤職員：10名	非常勤職員：24名
専門職員	（専門職の名称）：名	栄養士：2名
	保育士：20名	幼稚園教諭：1名
	中・高校教員免許：2名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	居室：1歳児室	設備：調理室
	居室：2歳児室	設備：会議室
	居室：3歳児室	設備：事務室
	居室：4歳児室	設備：更衣室
	居室：5歳児室	設備：シャワー室
		設備：幼児用トイレ
		設備：職員用トイレ
	設備：みんなのトイレ（多目的トイレ）	
	園庭：園庭	

③理念・基本方針

<理念>

子供たちが素直な心で、のびのびと過せる事、また遊びを通して好奇心、創造する力、工夫する力、やり遂げる力等、生きて行く為に必要なさまざまな力を自ら経験して学んでほしい。

<基本方針>

1. 広々とした、緑豊かな環境の中で子供たちが、のびのび明るく成長すること、年齢に応じた躰を大切に他者への思いやりの心を持てるように、又きちんと挨拶ができる人になれるように保育することを基本とする。
2. 子ども達が安心して園生活を送れるよう、又保護者が安心して子どもを預けられるように園児の安全を第1に考えながら園児と保育士、保育士と保護者が信頼関係を大切にする。

<保育目標>

1. 心身ともに健康な子
2. 思いやりのある子
3. 挨拶のできる子
4. 意欲のある子

④施設・事業所の特徴的な取組

<岡村幼児園の特徴的な取り組み>

- 家庭に問題のある子どもは、児童相談所や警察との連携を取り、できる範囲でのサポートと見守りを行って行く。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年11月01日（契約日） ～ 2023年04月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2017年度）

⑥総評

【岡村幼児園の概要】

●岡村幼児園は、JR京浜東北線、市営地下鉄、京浜急行等の最寄り駅から、市営バス「天神前」徒歩5分、丘の上の「岡村天満宮」の境内の中にあります。運営は社会福祉法人梅の香り（以下、法人という）です。岡村公園に隣接した岡村天満宮は、京都北野天満宮の分霊を源頼朝の家臣が祀ったことが始まりと伝えられ、境内には「撫でれば患部の苦痛が除かれる」という石の牛像を始め、筆塚、針塚があり、稲荷社、本殿、神楽殿が色鮮やかに建立し、神社ゆかりの「西瓜天神」の横浜人形や絵馬も特色です。春には広い境内に立派な梅・桜が咲き乱れ、岡村幼児園は「岡村の天神さま」に見守られ創立72年の歴史ある保育園です。

●岡村幼児園は、昭和25年4月に岡村天満宮旧社務所を園舎に改造して開園し、同年9月に定員30名の保育園として神奈川県知事の認可を受けて以来、昭和26年には園舎を増築して定員41名となりました。以降、昭和32年～昭和42年の10年間で園舎を新築し定員も120名となり、さらに地域の人口急増に伴い地域要請に応じて園舎を増築し、昭和47年4月には定員148名となりました。しかし、開発された住宅地も少子高齢化が進み、平成10年までに増築・改造・一部新築を行い、現在は建物面積延べ470㎡の園舎、定員110名とする園体制に至っています。今後は少子化に合わせて段階的に定員を減少させる必要があると考えています。

●岡村幼児園の朝は天神様の前で祈り、宮司である園長先生のお話を聞き、朝の体操をすることから始まります。昔はよく見られた光景ですが、令和の時代には懐かしく且つ新鮮です。子どもたちの家庭の祖父母は元々の天神様の氏子だった家庭であり、その子どもたちが地元に戻り、保護者の中にも卒園児が多く見られ、違和感なくこの環境を受け入れ、共に訓えに沿った子育てをしています。大都会の横浜の中に代々伝承されていく地域が残っていることは価値あることです。朝の体操が終わると、境内で遊ぶクラス、部屋に戻って制作をするクラス、散歩に出かけるクラス等に分かれ、岡村幼児園の子どもたちの1日がスタートします。

◇特長や今後期待される点

1. 【遊び込める環境作りの推進】

岡村幼児園の園庭は天満宮の境内でもあり、梅の木や桜の木その他、種々樹々に囲まれた

自然豊かな環境の中に固定遊具があり、伸び伸びと子どもが遊び込める環境が整備されています。園舎前には滑り台ができる「ピカチュウ」が設置され、子どもの背丈に合わせたカウンターのある砂場園庭と、清めの水場の裏側にある滑り台やジャングルジム園庭を有し、子どもたちは年齢に合わせて遊びを楽しめる環境が整えられています。

2. 【子どもの自立に向けた環境作り】

子ども中心に考えられた園庭を含め、天神様の境内全てが子どもたちの遊び場です。同様に、天神様の境内全てが地域の氏子等、参詣の場所です。今、保育園で問題として挙げられるセキュリティに関しては施しようがありません。遠方からの通園希望者は懸念する場面もありますが、殆どが地域の家庭であり、慣れ親しんだ天神様の境内にある保育園のセキュリティの安全・安心については複雑な課題です。境内には神楽殿があり、地域の神輿の格納庫もあり、歴史や地域の行事に自然に触れ、裏には横浜市岡村公園テニスコートがあり、行く道なりには花の咲く樹木や草が生い茂り、昆虫や小鳥も集まってきた、大きなピオトープがあるような環境です。子どもたちは天神様の周りで隠れんぼをしたり、坂を登り下りしたり、昆虫を捕まえたり、自然が織りなす環境下で日々新しい発見をして伸び伸びと成長しています。

3. 【理念に沿った子どもの育成への取組】

理念に沿った保育の中で、特に注力しているのが、「子ども一人ひとりが安心して過ごせる温かみのある保育」、「基本的な躰と挨拶を身に付ける」、「保護者が安心して子どもを預けられる」ことであり、子どもの「今」を見つめながら人間形成の基礎作りの育成に努めています。毎朝行う朝の会では、園長の参拝に倣い全園児と職員が二礼二拍手一礼の参拝を行い、子どもたちは手をしっかり伸ばして柏手を打ち、腰をしっかりと折って拝礼し、決して信仰の強制ではなく、自然と神への敬いで心を引き締め、姿勢も正されています。ラジオ体操でもきびきびとした動きで心身を鍛え、区切りを持って清々しい1日のスタートとなっています。また、「朝の会」は、物事の節目を正した行いであり、行動が「きちんとした」人の生活となり、その結果、人として守られるべき「決まり」を守ることができ、「挨拶ができる人」が育つ、とした園理念に沿って毎日欠かさず行うことで、基本的な生活習慣が身に付いています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：岡村幼児園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

岡村幼児園では、2017年に第三者評価を受審して以来、2度目の受審となりました。今回も自己評価にはかなりの時間がかかりましたが、職員全員の評価、クラス単位での評価、経験年数でのグループ分け評価を集計して話し合いを進め最終評価へとまとめて行く中で、運営や保育内容を振り返る良い機会となり、また全職員が園の在り方について共通認識を再確認することができました。

第三者評価を受審したことによって、課題や改善点が確認できただけでなく、岡村幼児園の良い面を継続していくことも大切だと感じました。

利用者アンケートでは、保護者の皆様から貴重なご意見や温かいお言葉をいただき感謝すると共に、今後の保育運営に反映していくよう努めてまいります。

令和5年度はコロナの影響も軽減して保育内容や行事もここ数年とは違った活動ができるようになると思われまますので、今後も園児一人ひとりを大切に、保護者が安心してお

子様を預けられる保育園を目指してまいります。

<評価後取り組んだ事として>

1. 岡村幼児園の保育理念・保育方針を全職員に再確認を行った。
2. 利用者アンケートに寄せられた、ご意見や要望について職員で改善策を話し合った。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり